

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: “ WRECK-IT ”

平成 28 年 4 月 5 日

COLOR:GOLD&WHITE Pearl / BLACK Solid

COVER STOCK: **新素材** PSYCHED HYBRID REACTIVE

RG : 2.55 (MED) ΔRG:0.042(Low)

FACTORY FINISH: 3000-Grit PAD

TRACK FLARE POTENTIAL: MEDIUM

BACK END:16 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

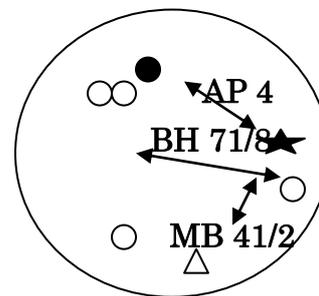
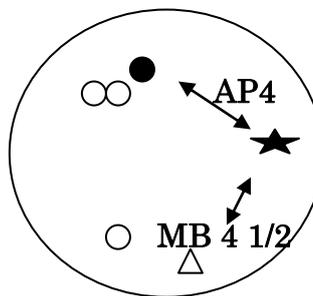
適正レーンコンディショングラフ

【MEDIUM HEAVYOIL 編】

レイアウト例

HECTIC

WRECK-IT

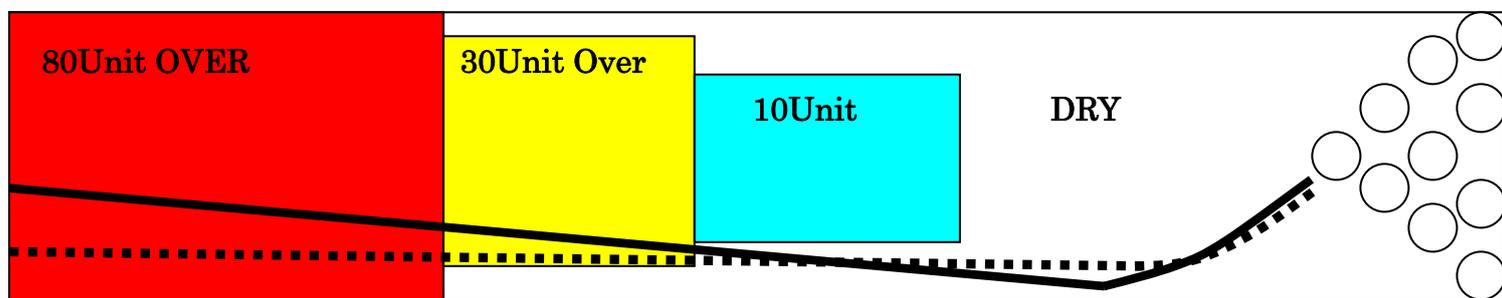


CA52 度

CA52 度

ルアー幅 最大 63/4・間隔 1/8

最大 6 3/4・間隔 1/8



0F

15F

40F

比較品ライン

WRECK-IT

HECTIC

【レーン状況】 ベースメンテナンスはツインスター。15F まではスプレーでオイルを増量し 50 ユニット以上。ドレッシング距離は 40F までオイル量的にはミディアム。バックエンドは手拭をし、ドライな状況です。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

この製品は上級者の方には遅いレーンでバックエンドがネジ切れてしまう場合でのドライコンディショニング用としての使用が望ましく、中級者の方にはアウトからのコントロール性の高い扱い易い製品になると思います。NEUTRON コアは必要以上の曲りが無く、余分なパワーは使わないのでピンアクションに反映されます。幅広いボウラーの必需品ですね。

【ここが POINT】



プロボウラーの中でも回転数がアベレージ(13-14 回転)な私ですが、やはりドライなコンディショニングでもバックエンドの余分な動きが不要になってきています。やはり回転数が少な目のボウラーの悩みはボールのパワー不足です！必要以上に手前で噛むと(摩擦が強いと)バックエンドまで持たないのでピン飛びが弱まります。かと言って走り過ぎるとタップします。双方の悩みを解消するには必要以上のパワーは使わない事です。投球にもよりますがボールで解消できるのは非常にありがたいですね。ボールは価格ではありません、使い方ですよ！

発売日 28 年 5 月 販売価格 ¥36.720 円 テストセンター本八幡ハタボウル テスター石原 章夫プロ